

授業科目	子どもの発達理解とあそび				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21335J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP5-3			
担当教員	阿南 寿美子、村上 里絵							
授業概要	保育は、子どもの遊びや生活の中で、直接的・具体的な体験を通して人とかかわる力や思考力、感性や表現する力などをはぐくみ、生涯にわたる人格形成の基礎を培うという重要な役割を担っている。保育者は、その遊びの重要性を理解し、乳幼児期の発達を見通し、子どもの興味や関心、行動の理解と予想に基づき、発達を促す遊び(活動)を計画することが必要である。本講義では、実際に乳幼児の遊びを体験し、子どもが遊びの中で何を学び、何を身につけているのか、保育者として遊びをどのように援助したらよいのか等を考え、発達に応じた遊びの展開について理解を深め、実践力が身につくようにする。							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児理解の意義を理解している。 ・乳幼児理解から発達や学びを捉える原理を理解している。 ・乳幼児理解を深めるための保育者の基礎的な態度を理解している。 ・観察と記録の意義や目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。 ・個と集団の関係を捉える意義や方法を理解している。 ・乳幼児のつまずきを周りの乳幼児との関係やその他の背景から理解することができる。 ・保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解している。 ・子どもの遊びや活動の展開を予想し、保育者の援助について理解できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	80	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					40		40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					20	10	40	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)					20	10	30	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
子ども集団や個々の子どもの特性に配慮しながら遊びの援助方法について考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。				乳幼児期の子どもの発達の特徴を知り、あそびの計画を立てることができる。応答的環境について理解し、子どもと関わるることができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション(村上・阿南) 授業の概要(目的・内容・評価方法等)及び子ども理解の意義について知る。	講義	講義の内容について復習する。	15
2	0～1歳児の保育と遊び(村上・阿南) 0～1歳の発達	講義	講義の内容について復習する。。	15
3	2歳児の保育と遊び(村上・阿南) 2歳児の発達の様子を知り、保育への展開のあり方を考える。	講義	講義の内容について復習する。	15
4	3歳児の保育と遊び(村上・阿南) 3歳児の発達の様子を知り、保育への展開のあり方を考える。	講義	講義の内容について復習する。	15
5	4～5歳児の保育と遊び(村上・阿南) 4～5歳児の発達の様子を知り、保育への展開のあり方を考える。	講義	講義の内容について復習する。	15
6	子どもの遊びと保育実践①(阿南・村上) 乳幼児の遊びを実践するための援助方法、留意点について振り返りを行う。	講義	遊びに関わる保育の内容について考えておく。	15
7	リズム遊び(村上・阿南) 乳幼児期におけるリズム遊びの体験を通して発達に応じた援助方法について理解する。	講義及びグループワーク	遊びに関わる保育の内容について考えておく。	15
8	ルールのある遊び(村上・阿南) 乳幼児期に行われルールのある遊びへの体験を通して、発達に応じた援助方法について理解する。	講義及びグループワーク	年齢に応じた遊びの展開の方法、留意点についてまとめる。	15
9	子どもの遊びと保育実践②(阿南・村上) 乳幼児のリズム遊び、ルールのある遊びを実践するための援助方法について例示する。	演習	遊びに関わる保育の内容について考えておく。	15
10	身近な素材を使った遊び(村上・阿南) 身近な素材を使った遊びを体験し、発達に応じた援助方法について理解する。	講義及びグループワーク	年齢に応じた遊びの展開の方法、留意点についてまとめる。	15
11	子どもの遊びと保育実践③(阿南・村上) 身近な素材を使った遊びを実践するための援助方法について例示する。	演習	遊びに関わる保育の内容について考えておく。	15
12	集団遊び(村上・阿南) 集団遊びの体験を通して、発達に応じた援助方法について理解する。	講義及びグループワーク	年齢に応じた遊びの展開の方法、留意点についてまとめる。	15
13	まねっこ遊び・お話創り(村上・阿南) 体験を通して発達に応じた援助方法について理解する。	講義及びグループワーク	年齢に応じた遊びの展開の方法、留意点についてまとめる。	15
14	子どもの遊びと保育実践④(阿南・村上) 集団遊び・まねっこ遊びを実践するための援助方法について例示する。	講義及び演習	遊びに関わる保育の内容について考えておく。	15
15	まとめとふりかえり(阿南) 前期に学んだ実践と理論を振り返る。	講義	プリントをまとめ、本授業内容について振り返りをしておく。	60
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	1年次に学習した内容や教育実習・保育実習などの実践について自主的に総括してください。			
テキスト	乳児の発達と保育 遊びと育児(エイデル研究所)1,714円＋税			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて資料を配布します。 実習の日誌と指導案サポートブック(大元千種監修、ナツメ社) 遊びの指導 乳・幼児編(同文書院) 乳児期の発達と生活・あそび(長瀬美子、ちいさいなかま社) 幼児期の発達と生活・あそび(長瀬美子、ちいさいなかま社)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	遊びの体験で実際に体を動かすことはできませんが、いろいろな遊びのアイデアを出し合ってみましょう。それを基にして、実践に活かせるように遊びの意味や展開の工夫等を伝えていきたいと思えます。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	提出物・課題については、授業の中で指示します。 「あそび」の中で作成したポートフォリオは、指導案作成の際に実践内容の振り返りに用います。また、最終授業時に回収し、評価します。 作成した指導案は、翌講義回で返却し、内容について全体及び必要に応じて個別に解説します。 授業に臨む姿勢、積極的な参加は、「その他」評価についての基準となります。			

